

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2004.06.16

参加者 高松（仁美小） 倉橋（西大寺南小） 三辻（彦崎小） 松本（国府小） 福井（伊島小）

【金属標本】 福井

初等理科教育の研修会で静観台は『金属標本』をすることに決めました。これは台紙に鉄・アルミニウム・銅・鉛・スズ・ステンレス・ニクロム・白銅・青銅・黄銅・金・銀…をホットボンドで貼り付けるもので、電気を通すもの・磁石につくものを調べるのに使います。台紙はシール付の紙ラベルに印刷して、段ボールに貼り付けます。金属は、白銅・青銅・黄銅は硬貨を鉛は釣りのおもり、スズは絵の具チューブ、鉄・ステンレスは釘、銀は仁丹、金はアラザン、アルミニウムは空き缶…というように身の回りで使われているものをそのまま貼り付けます。これから、これを授業の中でどう活かすか検討します。



【パソコンで道徳】 高松・松本

なんとこの日、高松・松本・三辻の各先生の学校は参観日で3人とも視聴覚機器を使った道徳の授業をしたというので驚きました。高松先生は大リーグのイチローをテーマに問題形式で進めていく自作教材を見せてくれました。イチローが普段から道具を大切に扱い、体調を管理していることが多くの写真から見て取ることができました。終末を『心のノート』につなげていることも道徳の授業として考えられた展開でした。松本先生もやはりパソコンを使ったプレゼンテーションで障害をもった詩画家、星野富弘さんの生き様とそれを支える周囲の人の様子を心に響く映像で見せてくれました。どちらもすぐ使えます。



それにしても、このところ静観台ではノートパソコンの購入ラッシュで、今回は松本先生が新品のお披露目でした。机上にズラズラ〜とパソコンが並ぶとなかなか壮観です。フォントやソフトの情報交換もためになります。



【手作り模型完成】 倉橋

倉橋先生が3年の歳月をかけて手作りされてきた模型が完成しました。ガンダムに出てくる宇宙船で全長が1mを超えます。しかも、単に大きいだけでなく細部まで極めて精巧に作られており、クラフトマンの意気込みを感じました。この作品は月刊HOBBY JAPANの今月号に載る予定です。



【山陽放送まなまなビギン】 福井

4月に山陽放送から声がかかり『まなまなビギン』という番組に出演しました。4月の初め頃の収録だったので授業も始まっておらず、理科の授業開きの様子を撮ってもらいました。理科で大切なものはふ…しぎだなど感じる心、く…ふうして考える頭、い…ろいろ試してみる体、です。という自己紹介の部分が放映された時は大爆笑でした。そうか、ここが出たか…。授業は『OOOOころりん』でしたがせっかく子供達が張り切って意見を言った部分が時間の都合で出なかったのが、ちょっと残念でした。